

法人(事業所)理念		「生きる」を楽しく		
支援方針		一人ひとりの可能性を大切にし、自立への第一歩を支えます。個別支援や小集団活動、集団活動を通じて、家族と共に成長を育んでいきます。		
営業時間		10時30分～17時	送迎実施の有無	有・無
		支援内容		
本人支援	健康・生活	<p>○来所後の身支度（靴の整理、荷物の管理、衣類の調整等）について、自立に向けて取り組めるよう、言葉かけや視覚的支援（カードやスケジュール表）を用いながら段階的に支援します。○おやつや活動の時間を通して、食具の使い方やマナーを身につけるとともに、さまざまな食体験や簡単な調理活動を取り入れ、食への関心や生活力を育てます。</p> <p>○気持ちカードやチェック表・絵本等を活用し、自分の体調や気持ちの状態に気づき、適切に伝える力を育てます。○子どもが安心して過ごせる環境を整え、体調や気持ちに合わせて活動への参加や過ごし方を自分で選べるようにします。落ち着いて過ごせる時間や空間も大切に、安心して過ごせる関わりを行います。○基本的な生活習慣（手洗い、排泄、身の回りの整理整頓等）について、家庭と連携しながら継続的に支援し、年齢や発達に応じた自立を促します。</p>		
	運動・感覚	<p>○リズム運動やダンス、サーキット、ヨガ、光遊び、音楽や楽器を使った活動などを通して、楽しみながら身体の使い方やボディイメージの向上を図ります。○トランポリンやトンネル、ハードルなどの教具を活用し、楽しみながら体幹や姿勢の保持に必要な筋力を育てるとともに、バランス感覚や協調運動の発達を促します。○制作活動や土いじり、調理活動等を通して、指先を使う経験を積み、巧緻性（こうちせい）の向上につなげます。○公園遊びや外での散策、自然体験を取り入れ、四季を感じながら、さまざまな感触・匂い・音などに触れることで五感を育て、興味関心の幅を広げます。○一人ひとりの体調や気持ちに応じて、活動内容や参加の仕方を選択できるようにし、無理なく楽しみながら身体を動かす経験を大切にします。</p>		
	認知・行動	<p>○集団活動（ちゃーもたいむ）や遊びを通して、他者との適切な距離感や関わり方を学び、場面に応じた行動がとれるよう支援します。○マッチングゲームやパズル、ルールのある遊び等を通して、注意力や記憶力、考える力を養います。○絵カードや文字を用いたスケジュールやタイムテーブルを活用し、活動の見通しを持ち、自分で行動を調整する力を育てます。○カレンダー制作や公園遊び、季節の行事等を通して、時間の概念や季節の変化を理解し、社会性や情緒の発達にまなげます。○避難訓練や交通安全に関する活動を継続的に行い、日常生活の中で危険を予測し、安全に行動する力を育てます。○個別支援の時間を設け、一人ひとりの興味やニーズに応じた学習支援やソーシャルスキルトレーニングを行い、生活や集団場面で活かせる力を育みます。○一人ひとりの理解度や状況に応じて、取り組む内容や方法を選択できるようにし、主体的に学びや活動に参加できるよう支援します。○少人数での宿題支援を通して、学習習慣の定着とルーティーン化を図ります。</p>		
	言語・コミュニケーション	<p>○集団活動（ちゃーもたいむ）を通して、友だちと協力する経験ややりとりを重ね、相互的なコミュニケーション力を育てます。○自分の気持ちや出来事を発表する機会を設け、言葉だけでなく身振り手振りも含めて、自分の考えや思いを伝える力を養います。○絵本やペープサート、ごっこ遊びなどを通して、語彙力や表現力を高めるとともに、相手の話を聞く力や共感する力を育みます。○個別支援の時間を設け、一人ひとりの習熟度に応じた教材やプリントを用いて、読み書きの力の向上を図り、学習面での自信につなげます。○日常の関わりの中で、自分の気持ちや要望（参加・不参加など）を適切に伝える経験を積み、場面に応じたコミュニケーションがとれるよう支援します。○一人ひとりの特性や状況に応じて、伝え方や関わり方を選択できるようにし、安心してやりとりに参加できる環境を整えます。</p>		

人間関係・社会性	<p>○集団活動（ちゃーもたいむ）を通して、自分の気持ちをコントロールする力や、友だちの表情や気持ちに気づき理解する力を育てます。○遊びや活動の中で友だちへの興味関心を広げ、ルールの理解や協力する経験を重ねることで、一緒に過ごす楽しさや集団への自信につながります。○支援者との安定した関係性を基盤に安心して過ごせる環境を整え、他者との関わりに自分から参加できるよう支援します。○順番を守る、気持ちを言葉で伝える、玩具や教具の貸し借りをするなど、基本的な社会的スキルを、日常の中で繰り返し経験しながら身につけます。○活動内容や関わり方について、一人ひとりが選択できる機会を設け、自分のペースで集団に参加できるよう支援します。○外出活動や地域との関わり（買い物・公共交通機関の利用等）を通して、社会のルールやマナーを実践的に学ぶ機会を提供します。</p>		
家族支援	<p>○保護者と連携し、子どもの発達段階やニーズに応じた、わかりやすく具体的な個別支援計画を作成・共有します。○日々の関わりや活動の様子について、アプリや連絡ツールを活用し、文章や写真で丁寧にフィードバックを行い、家庭と情報共有を図ります。○発達や関わり方、きょうだい関係、学校生活に関する悩みや困りごとについて相談支援を行い、家庭での関わりにつながるよう助言します。○学校や関係機関（相談支援専門員・医療機関等）と連携し、情報共有や役割分担を行いながら、一貫した支援を提供します。○学校や自宅への送迎支援を通して、保護者の負担軽減と子どもの安定した通所につながります。○保護者参加型のイベントや交流の機会を設け、子どもの成長を共有するとともに、保護者同士のつながりを支援します。</p>	移行支援	<p>○子どもの発達段階や特性に応じて、学校生活や進級・進学に向けた準備を行い、環境の変化にスムーズに適応できるよう支援します。○日常の活動や小集団での経験を通して、ルール理解や対人関係、自己選択・自己決定の力を育て、将来の自立につながります。○学校や関係機関と連携し、情報共有や引き継ぎを行うことで、切れ目のない支援体制を整えます。○外出活動や買い物体験、公共交通機関の利用などを通して、地域生活に必要な力を身につけられるよう支援します。○本人や保護者の意向を大切にしながら、将来の生活や進路について考える機会を設け、見通しを持てるよう支援します。</p>
地域支援・地域連携	<p>○地域資源（公園、図書館、商業施設等）を活用した外出活動を行い、地域の中での経験を広げるとともに、社会性や生活力の向上につながります。○買い物体験や外食、公共交通機関の利用などを通して、地域で生活するために必要なルールやマナーを実践的に学ぶ機会を提供します。○学校や関係機関（相談支援専門員、医療機関等）と連携し、情報共有や支援方針の統一を図りながら、子どもにとって一貫した支援を行います。○地域のイベントや活動への参加を通して、地域社会とのつながりを感じられる機会を大切にします。○地域の中で安心して過ごせるよう、一人ひとりの特性に配慮しながら、参加方法や過ごし方を選択できるよう支援します。</p>	職員の質の向上	<p>○定期的な研修（内部・外部）への参加を通して、発達支援や障害特性に関する専門的知識・技術の向上を図ります。○日々の支援について職員間で振り返りや共有を行い、支援方法の見直しや統一を図ることで、より質の高い支援につながります。○ケース検討やミーティングを通して、一人ひとりの子どもに応じた支援方法をチームで検討し、適切な支援の提供を行います。○外部機関や専門職（相談支援専門員、医療・教育関係者等）との連携を通して、多角的な視点を取り入れ、支援の質の向上を図ります。○職員自身が自己研鑽に努めるとともに、互いに学び合える環境を整え、継続的なスキルアップを目指します。○子どもや保護者の声を大切にし、フィードバックを支援の改善に活かすことで、より良いサービス提供につながります。</p>
主な行事等	<p>ハロウィン、クリスマス会、節分、他事業所も含めた発表会、夏休みイベント、夏祭り、初詣、保護者参観、避難訓練、誕生日会、保護者参観、発表会、土曜日外出（不定期）</p>		